

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	多発性骨髄腫
治療法	CRd療法

	1	2	2
抗癌剤・商品名	カイプロリス	レブラミド	デカドロン
規格	10mg 40mg	2.5mg 5mg	0.5mg錠 4mg錠 3.3mg注
一般名	カルフィルゾミブ	レナリドミド	デキサメタゾン
一日投与量(規定)	20mg/m <sup>2</sup> (初回・2回目投与時のみ) 27mg/m <sup>2</sup> (3回目投与以降)	25mg/body	40mg/body(経口) 33mg/body(静注)
患者情報から算出した 一日投与量	初回・2回目 <b>30.02 mg</b>	<b>25 mg</b>	<b>40 mg(経口)</b>
	3回目以降 <b>40.53 mg</b>		<b>33 mg(静注)</b>
実際の投与量	初回・2回目 <b>30 mg</b>	<b>25 mg</b>	<b>40 mg(経口)</b>
	3回目以降 <b>40 mg</b>		<b>33 mg(静注)</b>
投与日	初回・2回目 <b>20 mg/m<sup>2</sup></b>	day1-21	day1,8,15,22
	3回目以降 <b>26.6 mg/m<sup>2</sup></b>		
1クール期間	28日間		
予定クール数	最大 18 コース		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施		

適応基準	再発・難治性多発性骨髄腫
推奨 経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2.妊婦又は妊娠している可能性のある女性 3.適正管理手順を遵守できない患者 4.感染症のある関節腔内、滑液嚢内、腱鞘内又は腱周囲 5.動揺関節の関節腔内
中止基準	好中球数:1000/mm <sup>3</sup> 未満 血小板数:25000/mm <sup>3</sup> 未満 カイプロリス休薬 好中球数:750/mm <sup>3</sup> 未満 血小板数:30000/mm <sup>3</sup> 未満 レブラミド休薬 いずれも骨髄機能が回復するまで投与延期(カイプロリス添付文書および適正使用ガイド内の基準に準拠)
副作用	<p>●<b>カイプロリス</b></p> <p><b>重大</b> 1.心障害 2.間質性肺疾患 3.肺高血圧症 4.肝不全、肝機能障害 5.急性腎不全 6.腫瘍崩壊症候群 7.骨髄抑制 8.Infusion reaction 9.血栓性微小血管症 10.可逆性後白質脳症候群、脳症 11.高血圧、高血圧クリーゼ 12.静脈血栓塞栓症 13.出血 14.感染症 15.消化管穿孔</p> <p><b>その他</b>(5%以上) 悪心、腹痛、下痢、便秘、疲労、無力症、末梢性浮腫、発熱、食欲減退、高血糖、低カリウム血症、 低リン酸血症、筋痙縮、筋力低下、末梢性ニューロパチー、不眠症、浮動性めまい、振戦、呼吸困難、発疹</p> <p>●<b>レブラミド</b></p> <p><b>重大</b> 1.深部静脈血栓症、肺塞栓症 2.脳梗塞、一過性脳虚血発作 3.骨髄抑制 4.感染症 5.皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死症(TEN) 6.腫瘍崩壊症候群 7.間質性肺疾患 8.心筋梗塞、心不全、 不整脈 9.末梢神経障害 10.甲状腺機能低下症 11.消化管穿孔 12.起立性低血圧 13.痙攣 14.肝機能障害、黄疸 15.重篤な腎障害</p> <p><b>その他</b>(5%以上) 便秘、発疹、倦怠感</p> <p>●<b>デカドロン</b></p> <p><b>重大</b> 1.ショック、アナフィラキシー 2.誘発感染症、感染症の増悪 3.続発性副腎皮質機能不全、糖尿病 4.消化性潰瘍、 消化管穿孔、肺炎 5.精神変調、うつ状態、痙攣 6.骨粗鬆症、大腿骨及び上腕骨等の骨頭無菌性壊死、ミオパシー、 脊椎圧迫骨折、長骨の病的骨折 7.緑内障、後囊白内障 8.血栓塞栓症 9.喘息発作</p> <p><b>その他</b> 月経異常、下痢、悪心・嘔吐、胃痛、胸やけ、腹部膨満感、口渇、食欲不振、多幸症、不眠、頭痛、めまい、 筋肉痛、関節痛、満月顔貌、野牛肩、窒素負平衡、脂肪肝、浮腫、血圧上昇、低カリウム性アルカローシス、 中心性漿液性網脈絡膜症等による網膜障害、眼球突出、白血球増多、瘡瘍、多毛、脱毛、色素沈着、皮下溢血、 紫斑、線条、痒疹、発汗異常、顔面紅斑、紅斑、創傷治癒障害、皮膚菲薄化・脆弱化、脂肪織炎、発熱、疲労感、 ステロイド腎症、体重増加、精子数及びその運動性の増減、しゃっくり、刺激感</p>
備考	

CRd療法 観察記録①⑧⑮

所要時間: 1時間

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師: カイトロリス( mg ) 一般名(カルフィルゾラム)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食100mL		1時間かけて点滴【100mL/hr】	
	生食100mL +デカドロン 10 A		30分かけて点滴【200mL/hr】	
	5%ブドウ糖50mL+カイトロリス 総液量 mL		10分かけて点滴【 mL/hr】	
本体終了後抜去				

CRd療法 観察記録②⑨⑩

所要時間: 1時間

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師: カブプロリス( mg ) 一般名(カルフィルゾラム)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食100mL		1時間かけて点滴【100mL/hr】	
	生食100mL +デカドロン 1 A		30分かけて点滴【200mL/hr】	
	5%ブドウ糖50mL+カブプロリス 総液量 mL		10分かけて点滴【 mL/hr】	
本体終了後抜去				